

都島工業高校で出前講座開催

3年生 15 人がハッカー使い組立作業

関西鉄筋工業協同組合（岩田正吾理事長）は 6 月 17 日、大阪市都島区の大阪市立都島工業高等学校で出前講座を開催しました。同校での出前講座は 3 年連続で、今回も関西圧接業協同組合（濱野功理事長）との合同によるものです。

当日の講座には建築生産コースの 3 年生 15 人が受講しました。午後の授業から行われた講座では、岩田、濱野の両理事長による挨拶に続いてまず座学が行われ、鉄筋工事の役割や重要性などが説明されました。

引き続き、生徒たちは 3 班に分かれて 3 級検定モデル（試作中）の鉄筋組立作業に挑戦。最初はハッカーの使い方もぎこちなく、とまどいながら作業していた生徒たちは、熟練した職人の手ほどきと助言を受けながら、少しずつコツをつかみ結束作業も上手になっていきました。また、この間には班ごとに随時、圧接作業の実演見学と体験も行われ、初めての経験に歓声を上げていました。

なお、当日の出前講座には東京から TBS テレビが取材に来たほか、大阪労働局、大阪府中小企業団体中央会の担当者が見学に訪れました。

今回の出前講座に参加、協力いただいた組合関係者は次の通り。

- ・ 岩田理事長
- ・ 戸田副理事長
- ・ 森山理事
- ・ 恵谷理事
- ・ 田村理事
- ・ 長木さん（長木鉄筋）
- ・ 小泉さん（小泉組）
- ・ 浦田さん（池内工業）

講座状況

